

令和6年度 事業実施概要(取組概要・重点項目)

◆活動理念

「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」

◆取組概要

令和6年は西区が区制 80 周年を迎え、区内で様々なイベントの実施や地域行事や活動も活発に行われ、人と人との交流が盛んに行われました。結果として、住民同士の更に厚いつながりができました。また、第4期西区地域福祉保健計画(以下、にこまちプランという)は5か年計画の4年目を迎え、区役所・地域ケアプラザ・関係機関などと現計画を振り返りながら第5期計画の策定に向けて話し合いを進めてきました。更に地区別計画についても、各地区において、アンケートの実施や地区懇談会などの話し合いの場を設定して住民の皆さまと計画の振り返りを行いました。

本会では、地域のプラットフォームとなりうる地区連合町内会自治会、地区民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会に対して補助金を交付して、地域の小さな活動も含めた地域のつながりづくりや、住民同士が支えあう取組などに活用していただき、西区全体のつながりづくりをすすめ西区制 80 周年の機運向上を図りました。

◆重点項目の振り返り

1. 西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の策定・推進

「第4期にこまちプラン」5か年計画の4年目を迎え、現計画の振り返りを行いました。区計画について区民アンケートや各種福祉活動団体へのヒアリングや、区役所各課・区社協・地域ケアプラザの取組などを振り返りました。また、地区別計画については、各地区においてアンケートの実施や地区懇談会などの場を設けて参加者と計画の各目標の振り返りを行いました。

令和7年度は「第5期にこまちプラン」策定を着実に進めてまいります。

2. 小地域福祉活動の推進・支援

地区社協が地域のネットワーク組織として、一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを進められるよう、地区社協分科会で各地域での取組を共有するなど、地区社協の活動をサポートしました。

また、西区社会福祉協議会(以下、区社協という)では西区制 80 周年記念補助金を創設して、地域の様々な活動がつながることで、にこまちプランの推進に向けた活動が、更に活発化されるよう各地区に補助金を交付し活用していただきました。

3. ボランティア活動の推進・支援(ボランティアセンター事業)

ボランティアの裾野を広げるため、気軽に参加できるボランティア活動の提案や各種ボランティア講座を開催し、幅広い地域住民のボランティア活動への参画を促すことで、地域の福祉力の向上につなげました。また、障害のある方も一緒にボランティアや余暇などの活動に参加できる機会を作り、障害理解啓発を推進しました。

また、地域活動に長年協力いただいた個人や団体の皆様の表彰を行い、日ごろの活動へのお礼と更なる活動の意欲につながるよう、感謝の意を伝えるとともに会場の皆さんと受賞を祝いました。

4. 地域における権利擁護事業の推進(あんしんセンター事業)

権利擁護事業(以下、あんしんセンターという)の運営を通じて、金銭や大切な書類の管理に不安のある高齢者や障害者の財産および権利を守り、安心して日常生活が送れるよう支援しました。また、関係機関等と連携を図り、各機関との情報共有や役割分担を行い利用者の自立した生活を支えてきました。

更に成年後見、障害者後見的支援制度等、後見制度に関わる様々な支援が区域で有効に機能するよう、成年後見サポートネットの開催など、成年後見制度利用促進法の推進に取り組みました。

5. 適切な法人運営

区社協が、地域からの信頼や期待に応えられるよう、個人の資質とチーム力の充実を図るため、年に2回職員全体研修を実施しました。また、業務全般において見直しや効率化により、経費削減に努め経営の安定化と運営基盤の強化を図ってきました。

また、コンプライアンスハンドブックを携帯して、常に区社協職員であるという自覚を職員一人ひとりが意識の向上を図り、信頼ある適正な業務執行を行いました。

6. 災害への備え

発災時に区社協が災害ボランティアセンター(以下、災ボラセンターという)を設置・運営するにあたり、市域で取組が進められている災害情報システムを活用した災害情報システム訓練を実施しました。

具体的な災害発生を想定して新たな災ボラセンターの設置場所である戸部公園において、区役所と協働で災ボラセンター設置訓練を実施しました。また、資機材確保に向けて区役所と協議しました。

◆事業項目

(にこまちプラン区計画:該当する目標)

I 誰ひとり取り残さない地域全体で支えあえる地域づくり

- ＜重点＞1. にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)の振り返り及び推進 (目標1～5)
- ＜重点＞2. 小地域福祉活動の推進・支援 (目標2～4)
- 3. ボランティア・市民活動への財政支援 (目標1～5)

II 支える・支えられるという関係を超えた地域人材の確保

- ＜重点＞1. ボランティア活動の推進・支援(ボランティアセンター事業) (目標1～5)
- 2. ボランティア等の福祉保健活動に関する相談及び育成・支援 (目標3～5)
- 3. 西区社会福祉功労者表彰 (目標2・4)
- 4. 福祉啓発・福祉教育の推進

III 個別課題を抱えた住民一人ひとりを受け止める

- ＜重点＞1. 地域における権利擁護事業の推進(あんしんセンター事業) (目標3)
- 2. 生活困窮者等支援 (目標3・4)
- 3. 移動に課題を抱えた方への支援(移動情報センター事業) (目標3・4)
- 4. 課題別分科会の推進(横断的な話し合いの場) (目標1～5)

IV 地域から信頼される区社協運営

- ＜重点＞1. 適切な法人運営
- 2. 事業推進体制の充実
- 3. 福祉保健活動拠点の管理・運営
- ＜重点＞4. 災害への備え(災害ボランティアセンター運営等) (目標1～4)

V 積極的な発信・啓発と福祉団体との連携・協働

- 1. 広報紙の発行・ホームページの活用
- 2. 福祉関係団体への運営協力・支援 (目標3・4)

I 誰ひとり取り残さない地域全体で支えあえる地域づくり

1. にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)の振り返り及び推進 重 点

令和6年度は、第4期にこまちプラン5か年計画の4年目となり、次期計画の策定にあたり、現計画の振り返りを各地区においてアンケートや地区懇談会などを開催して行いました。

また、にこまちフォーラムを開催して、各地区のにこまちプランの振り返りの様子などを説明しながら、一般住民に対して啓発を行いました。

1) 第4期にこまちプランの推進

第4期にこまちプランの振り返りを行い、第5期にこまちプランの策定について、区役所・地域ケアプラザと協働しながら取組みました。

(1) 区社協組織を活用したにこまちプラン区計画の推進

にこまちプラン区計画の推進に向け、区社協の持つネットワーク(各分科会等)を活かし検討・実施しました。また、分科会の枠を越えて全分科会参加型の研修会を開催し、第4期にこまちプランを学び合い各分科会の取組を共有しました。

① 会員全体研修会

月日・場所	内容	参加人数
11月25日(月) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	【テーマ】 会員間のネットワークを活かして、西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)推進の協働について考える 【内 容】 1. 各分科会の取組報告 2. 障害当事者からの話 3. グループワーク「気づき」 4. 講評 西尾 敦史 氏 (愛知東邦大学教授)	67名

② 各分科会での計画推進

本会では従来から多様な主体が集まる会員組織として、選択制の課題別分科会を実施し、社会福祉施設や地域活動団体等、分野や立場を超えた様々な課題等の検討と活動の実践を行ってきました。

第4期にこまちプランに沿って分科会ごとにテーマ設定を行い、取組を行いました。

(P27～ 部会・分科会・委員会を参照)

③ にこまちプラン推進のための事業展開

本会のネットワークを活かして「にこまちプラン全体計画」にかかる課題解決に向けた取組を行いました。

【各種講座等】

情報弱者および高齢者等の社会的孤立を防ぐため、令和4年度に立ち上げ支援を行ったスマホサポーターWEST および地区社会福祉協議会(以下、地区社協という)との共催により、また地域活動団体の協力により、身近な地域で「シニアのためのスマホ相談会」を開催しました。

開催内容	会場等	実施回数
定期開催	紅梅気楽カフェ、にしとも広場、藤棚らいぶステーション、 にこにこはうす、区福祉保健活動拠点「フクシア」 (各会場原則月1回)	全57回
不定期開催	フォレシスカフェ(1回)、ばあばの家あさだ(1回)、 岡野二丁目町内会(2回)	全4回
対象者限定開催	西戸部町3丁目シニアクラブ(月1回)	全12回

(2) 地区別計画の推進

地区毎に担当する職員を配置し「にこまちプラン地区別計画」の推進に向けて、地区の取組や事業に参画しサポートしました。また、地区の動向について、定期的に区役所や地域ケアプラザと情報を共有し地区支援に活かしました。

(3) 区・地区別計画の発信

第4期にこまちプランの取組みの推進に向けて、にこまちフォーラムや各種講座等を西区役所・地域ケアプラザと共催で開催し、区・地区別計画の取組状況等を発信しました。

月日・場所	内容	参加人数
2月15日(土) 西公会堂	【第1部】 西区各地区の取組報告 講評:西尾 敦史 氏 (愛知東邦大学教授) ミュージカル「にこまちの光」 ～語りかけよう、このまちの仲間たちへ～ 出演:宮谷小学校6年3組の子どもたち 【第2部】 防災講演会 「能登半島地震に学ぶ、頑張らない防災のすすめ」 ～明日からできる、災害時の備えやつながりづくりのヒント～ 講師:鈴木 光氏 (一般社団法人減災ラボ 代表理事)	400名 以上 (プログラム 配布数)

2) 地区支援チームへの参画

区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、支援チームでの打合せや、にこまちプラン地区別計画推進に向けた取組事業に関する支援を行いました。

2. 小地域福祉活動の推進・支援 重 点

1) 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所や地域ケアプラザとともに、「誰もが住み慣れた地域で生きがいや役割を持ちながらいきいきと暮らし続けられるよう、地域、NPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体が連携・協力する地域づくり」を目指しました。

(1) 第2層生活支援コーディネーターとの連携及び支援

① 西区生活支援コーディネーター連絡会の開催

多様な主体が連携・協力する地域づくりを推進するため、生活支援コーディネーター連絡会を開催し、区域での連携した地域づくりに向けた取組の検討や情報交換、勉強会を行いました。

開催数：全12回／毎月1回 原則第2水曜日

参加者：第2層生活支援コーディネーター（地域ケアプラザ）、第1層生活支援コーディネーター（区社協）、区地域包括ケア推進担当係長、区社協体制整備事業担当職員、区役所体制整備事業担当職員

月日	内容	参加人数
4月15日(月)	・令和6年度生活支援体制整備事業重点取組事項について ・区レベル地域ケア会議(協議体)「集合住宅の高齢者支援」振り返り ・連絡会の取組について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び1層の取組共有 他	7名
5月15日(水)	・令和6年度介護予防計画について ・居場所等地域活動情報リストの活用について ・地区概況シートの活用について ・連絡会の取組について(勉強会、地域活動情報の利用促進) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び1層の取組共有 他	9名
6月12日(水)	・1層域の重点取組事項について ・連絡会の取組(勉強会:高齢者とLGBTQ～誰もが参加出来る場づくり～、地域活動情報リストの利用促進) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び1層の取組共有 他	8名
7月10日(水)	・連絡会の取組(勉強会:高齢者とLGBTQ～誰もが参加出来る場づくり～、地域活動情報リストの利用促進) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び1層の取組共有 他	7名
8月14日(水)	・サービスB団体情報共有会について ・広報(広報よこはま西区版、動画作成)について ・シニア×生きがいマッチング事業の進捗について ・連絡会の取組(勉強会:高齢者とLGBTQ～誰もが参加出来る場づくり～、地域活動情報の啓発) ・にこまちプランの振り返りおよびにこまちフォーラムについて ・各地域ケアプラザ及び1層域の取組共有 他	7名
9月11日(水)	午前 勉強会 映画視聴「94歳のゲイ」	13名
	・通いの場研修について ・連絡会の取組(映画振り返り、ケアマサロンでの地域活動の啓発内容検討) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び1層の取組共有 他	
11月16日(水)	・連絡会の取組(高齢者とLGBTQ～誰もが参加出来る場づくり～取組検討、ケアマサロンでの地域活動の啓発内容検討) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び1層の取組共有 他	7名

11月13日(水)	・サービス B 団体情報共有会について ・研修振り返り：「これからの生活支援体制整備事業(11/12)」 ・連絡会の取組(高齢者と LGBTQ～誰もが参加出来る場づくり～の啓発方法検討、ケアマネサロンでの地域活動の啓発) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び 1 層の取組共有 他	7名
12月11日(水)	・令和6年度介護予防事業の取組について ・連絡会の取組(勉強会:高齢者と LGBTQ～誰もが参加出来る場づくり～の啓発方法の検討、ケアマネサロンの啓発振り返り) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び 1 層の取組共有 他	8名
1月15日(水)	・区推進会議報告および今後の予定について ・区レベル地域ケア会議について ・連絡会の取組(啓発記事の作成、ケアマネ対象地域活動見学会の状況共有) ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び 1 層の取組共有 他	9名
2月12日(水)	・区レベル地域ケア会議について ・連絡会の取組(啓発記事の作成、地域活動の啓発予定共有) ・地域支援事業要綱等改正について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び 1 層の取組共有 他	9名
3月13日(水)	・一人暮らし高齢者のアンケート調査(ニーズ調査)協力 ・区レベル地域ケア会議について ・連絡会の取組(啓発記事発行スケジュール等確認) ・地域支援事業要綱等改正について ・令和7年度連絡会の取組について ・市推進会議報告、各地域ケアプラザ及び 1 層の取組共有 他	8名

② 研修会の実施

生活支援コーディネーターおよび地域活動交流のスキルアップと目的に開催しました。

※中区社協共催

月日・場所	内容	参加人数
8月23日(金) 宮崎地域ケアプラザ	西区・中区合同 地域ケアプラザ コーディネーター研修 「会議進行に役立つ ファシリテーション研修」 講師: 青木 将幸氏(青木将幸ファシリテーション事務所代表)	29名

③ 第2層協議体等への出席・支援

各地域ケアプラザでの課題解決に向けた検討会や新たな資源開発に向けた協議体等に出席、支援しました。 5協議体(事業) / 延べ23回 開催

(2) 第1層生活支援コーディネーターの取り組みについて

① 事業推進に向けた地域ケアプラザ・区役所との協働

以下の会議の運営に携わりました。また、各地域ケアプラザの当該年度取組の振り返りと、次年度計画・方針を確認して事業を推進するため、2層生活支援コーディネーターおよび所長へのヒアリングを行いました。

- ア 区版推進会議の開催 9回
 イ 市版推進会議への出席 10回
 ウ 第1層コーディネーター連絡会・情報交換会への出席 7回
 エ 各地域ケアプラザへのヒアリング 4地域ケアプラザ×年2回(中間振り返り、次年度計画)

② 介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の支援

活動推進に向けて、運営団体と関係機関で情報共有会等を開催しました。

事業名・月日・場所	内容	参加者
ばあばの家あさだ 第1回:6月7日(金) 第2回:11月15日(金) ばあばの家あさだ	利用状況・課題の共有 今後の推進に向けて	たすけあいぐっぴい(ばあばの家あさだ)、所在地区自治会、宮崎地域ケアプラザ、藤棚地域ケアプラザ、区役所、区社協
訪問はっぴいさん 第1回:4月19日(金) 第2回:9月20日(金) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	利用状況・相談状況の共有 担い手の確保、運営における課題や懸念事項について	はっぴいさん、宮崎地域ケアプラザ、藤棚地域ケアプラザ、戸部本町地域ケアプラザ、浅間台地域ケアプラザ、区役所、区社協
ボッチャ同好会 第1回:4月19日(金) 第2回:9月20日(金) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	利用状況の共有 運営における課題や懸念事項について	横浜中部ボッチャ同好会、宮崎地域ケアプラザ、藤棚地域ケアプラザ、戸部本町地域ケアプラザ、浅間台地域ケアプラザ、区役所、区社協

③ 1層協議体(区レベル地域ケア会議)の開催

マンション等集合住宅の高齢者支援が区内共通の課題になっているものの、マンション管理者や居住者へのアプローチが難しい状況から、集合住宅における高齢者支援に関する全国的な傾向や他都市での取組を学ぶとともに関係者間のネットワーク構築のきっかけの場として1層域(区域)の会議を開催しました。

月日・場所	内容	参加者
3月18日(火) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	「集合住宅と地域共生～防災の視点から～」 「西区の高齢者概況とこれまでの取組」 「意見交換」 講師:田中 昌樹氏 (マンションみらい価値研究所(株)大和ライフネクスト)	区社協高齢福祉分科会、ケアマネ連絡会、横浜マンション管理組合ネットワーク、横浜マンション管理組合サポーターセンター相談員、マンション管理会社、地域ケアプラザ、区役所、区社協 / 計33名

④ 地域アセスメントの取組

高齢者が参加可能な地域のサロンや趣味活動などの集いの場といった社会参加の場や、介護予防・健康づくりに取り組める場、移動販売やちょこっとボランティアといった生活支援サービスなど、区内の地域活動・地域資源を把握し、地域資源管理サービスソフト「Ayamu」等を活用して地域ケアプラザおよび区役所と共有しました。

⑤ 生活支援体制整備事業の啓発

ホームページ等での広報の他、区社協が行う他業務担当との連携により、交流や居場所、生活支援、見守り等を通じた社会参加や介護予防の啓発に取り組みました。

2) 身近な地域のつながり・ささえあい活動推進事業の推進

全職員がコミュニティソーシャルワークの視点で個別課題の発見と地域支援体制づくりを目指して業務に取り組みました。また、地域ケア会議への参加や勉強会の開催等を通じ、地域ケアプラザや区と共に課題共有や解決に向けて取り組みました。

(1) 個別ケースの発見と対応

区社協が行う個別支援事業(あんしんセンター、生活福祉資金貸付、ボランティアセンター、移動情報センター)では他業務担当や地区担当との連携により、困難を抱えた方の課題解決に向け取り組みました。

また、地域包括支援センター定例カンファレンスや地域ケア会議等に参加し、個別課題の把握を行いました。

① 地域ケア会議への参加

(P11 4)地域包括ケアシステムの推進支援 -(1)地域ケア会議への参加 参照)

② 地域ケアプラザとの情報交換の実施

地域ケアプラザとの連携強化を目的に、区内4地域ケアプラザの包括カンファレンスや6職種会議などに参加し、地域情報等の共有や情報交換等を行いました。(各地域ケアプラザ月1回程度)

(2) 身近事業勉強会「個別支援と地域支援の融合～個と地域の一体的支援～」の実施

地域で育まれている住民相互の支えあい活動を個々の課題の解決につなげるために、専門職としてどのような視点や働きかけが必要かを共に考えていくことを目的に勉強会を開催しました。

月日・場所	内容	参加者
9月27日(金) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	ボランティアセンターへの通院等外出時の同行相談事例から (近隣等とのトラブル経験のあるケースへの支援)	区社協 8名
12月24日(火) 福祉保健活動拠点 「フクシア」	移動情報センターへの相談事例から (複合的な課題のある世帯への支援)	区社協 8名 横浜市社協 2名

3) 地区社協活動の推進支援

地域福祉活動の中核を担う地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を発揮し、地域課題の解決に向けた活動が展開できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修、事業費助成を行いました。

(1) 地区社協活動の運営・活動支援

① 地区社協研修の実施

ア 地区社協研修会 [区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、研修会を開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
7月25日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	【ミニ研修会】 「地域の困りごとの把握や気づき等を地区社協内で話し合って共有する取組を実践している事例を学ぶ」 地区社協分科会の中で、令和5年度の「地区社協全体会」の事例を視聴し、地区社協の話し合いの場の重要性について意見交換をしました。	13名
9月26日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	【ミニ研修会】 「他人事を我が事へ～住民による見守り活動の事例に学ぶ」 地区社協分科会の中で、「身近な地域の見守り支援合い活動の事例をもとに、地域での見守り課題等について意見交換をしました。	14名

イ 第9回よこはま地域福祉フォーラム [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び 18 区社会福祉協議会で共催

月日・場所	内容	開催方法
12月5日(木) 関内ホール	テーマ：「一人ひとりが大切にされるまちへ」 ～思いに寄り添い 認めあい 支えあう～ <全体会> 基調講演：「つながりの中であたりまえに生きていく」 講師：丹野 智文 氏 (おれんじドア 代表) <分科会> 第1分科会： 寄り添い 認めあい 自分らしさが輝くまちへ 第2分科会： みんなが主役 つながり 広がる まちづくり	集合研修 4名参加 オンライン 配信 (R7.2.3～ 3.26)

② 地区社協活動費の交付・助成

地区社協活動の充実に向け、安定した財源を確保するために助成金を交付しました。

<地区社協助成金>

項目	内容	財源
【活動運営費】	300 千円 6地区 210 千円 6地区 270 千円 6地区	市社協補助金 共同募金配分金 賛助会費還元金

【活動事業費】			
地区社協事業	1,495 千円	6地区	福祉基金
親子ふれあい会事業	90 千円	2地区	福祉基金
地区社協研修費	30 千円	1 地区	福祉基金
高齢者見守り活動交流会	18 千円	1 地区	福祉基金
【小地域活動応援金】	900 千円	6地区	福祉基金
【年末たすけあい募金配分】	600 千円	6地区	年末たすけあい募金助成配分

③ 地区アセスメントシートの活用

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有・活用しました。

(2) 地区社協分科会の開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。（詳細はP27-28参照）

4) 地域共生社会の創出に向けて

(1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に参加し、個別課題の把握から地域課題の解決に向けた取組につながるよう、具体的な対応等について検討しました。

主催	月日	内容	参加人数
藤棚地域ケアプラザ	1月30日(木)	包括レベル地域ケア会議	35名
宮崎地域ケアプラザ	8月22日(木)	個別レベル地域ケア会議	13名
	1月30日(木)	個別レベル地域ケア会議	15名
	3月13日(木)	包括レベル地域ケア会議	20名
戸部本町地域ケアプラザ	7月30日(火)	包括レベル地域ケア会議	29名
	2月28日(金)	包括レベル地域ケア会議	31名
区役所	3月18日(火)	区レベル地域ケア会議(1層協議体)	33名

(2) 地域ケアプラザ との連携

① 地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換・研修などを行いました。

月日・場所	内容	参加人数
4月26日(金) 浅間台地域ケアプラザ	・今年度事業について ・自主事業／地域情報について ・各所管より情報提供	8名

5月24日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・自主事業について ・地域情報について ・合同事業:夏のボランティア講座について ・中区との合同研修について	10名
6月28日(金) 藤棚地域ケアプラザ	・自主事業について ・地域情報について ・サブコーディネーター研修について	9名
7月26日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・自主事業について ・地域情報について ・サブコーディネーター研修について	7名
8月23日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・コーディネーター研修:「ファシリテーション研修」 ~~~~~ ・自主事業について ・地域情報について ・サブコーディネーター研修について	9名
9月27日(金) 浅間台地域ケアプラザ	・自主事業について ・地域情報について ・夏休みボランティア体験講座ふりかえり ・貸館団体登録について情報共有	12名
10月25日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・自主事業について ・地域情報について ・にこまちプラン地区別振り返りアンケートについて ・小学校との関わりについて	8名
11月22日(金) 藤棚地域ケアプラザ	・自主事業について ・地域情報について ・にこまちプラン 振り返りについて	9名
12月20日(金) 宮崎地域ケアプラザ	・自主事業について ・地域情報について ・ボランティア体験講座について ・福祉教育について	7名
1月24日(金) 戸部本町地域ケアプラ ザ	・スマイルポートとの事業連会について ・自主事業について ・地域情報について ・にこまちフォーラムについて	9名
2月28日(金) 浅間台地域ケアプラザ	・次年度合同事業について ・自主事業について ・地域情報について	7名
3月28日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	・次年度合同事業について ・自主事業について ・地域の情報について	10名

② 地域ケアプラザ コーディネーター研修(再掲)

地域活動交流及び生活支援コーディネーターのスキルアップと目的に開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
8月23日(金) 宮崎地域ケアプラザ	西区・中区合同 地域ケアプラザ コーディネーター研修 会議進行に役立つ「ファシリテーション研修」 講師:青木将幸 氏 (青木将幸ファシリテーション事務所代表)	29名

※中区社協共催

③ 地域ケアプラザ サブコーディネーター研修

地域活動交流部門職員のスキルアップと、区内地域ケアプラザ間の連携や交流を目的に開催しました。

月日・場所	内容	参加人数
8月30日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	1. 施設利用マニュアル確認2. グループワーク 「日頃の業務で困っていること」・意見交換	28名

④ 区看護職連絡会への参加 (月1回)

地域ケアプラザ、区役所看護職と連携して介護予防・健康づくり、社会参加等の取組を進めていくことを目的に、西区看護職連絡会に参加し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

⑤ 区認知症キャラバンメイト連絡会・SOS ネットワーク連絡会への参加 (年2回)

区内の認知症キャラバンメイトと連携して認知症の普及啓発と認知症の人と家族を支える取組を推進していくことを目的に、西区認知症キャラバンメイト連絡会等に参加し、情報共有、意見交換などを行いました。

⑥ 地域ケアプラザ所長会への参加 (年12回)

区役所、区社協、地域ケアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ケアプラザ所長会に参加しました。

3. ボランティア・市民活動への財政支援

1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として助成金を配分しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
要援護者支援区分 (集いの場活動)	18件	1,906,000円
要援護者支援区分 (家事・生活支援活動)	3件	730,000円
要援護者支援区分 (配食活動)	1件	80,000円
障害児者支援区分 (当事者活動)	3件	260,000円
障害児者支援区分 (宿泊・日帰りハイイク活動)	1件	50,000円

障害児者支援区分（視覚聴覚障害者支援活動）	1件	50,000円
福祉のまちづくり区分	12件	480,000円
健康増進区分	1件	10,000円
合 計	40件	3,566,000円

（詳細は 別表1を参照）

2) 年末たすけあい募金の配分

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金を配分しました。

配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
年末たすけあい募金助成金	15件	947,710円

（詳細は 別表2を参照）

3) にこまち助成金の配分

横浜市に寄付された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、助成金を配分しました。

配分については、にこまち助成金審査委員会にて審議し決定しています。

申請区分	団体数(事業数)	助成金額	
A区分 (まちづくり)	8団体(8事業)	<申請金額5万円以下>	1団体 50,000円
		<申請金額5万円を超える>	7団体 1,315,000円
B区分 (サービスづくり)	5団体(7事業)	<申請金額5万円以下>	— —
		<申請金額5万円を超える>	5団体 2,320,000円
C区分 (担い手づくり)	1団体(1事業)	<申請金額5万円以下>	— —
		<申請金額5万円を超える>	1団体 290,000円
合 計	14団体(16事業)	3,975,000円	

（詳細は 別表3を参照）

Ⅱ 支える・支えられるという関係を超えた地域人材の確保

1. ボランティア活動の推進・支援(ボランティアセンター事業) 重 点

1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け付け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

(1) ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。

① ボランティア登録数

	個人登録人数				団体登録者数
	男性	女性	その他	計	グループ数
R6 新規登録者	19	23	1	43	7
参考) R5新規登録者	18	30	—	48	16
累 計 (R7年3月末現在)	75	107	3	185	89

② 単発・継続依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り 下げ	情報 提供	紹介 人数	調整数
児童	14	9	1	3	1	0	21	126
障害	15	8	5	0	2	0	15	212
高齢	164	132	15	5	9	3	297	897
外国人	1	0	0	1	0	0	0	5
限定せず	9	4	2	2	1	0	10	110
その他	26	19	2	4	0	1	97	356
R6合計	229	172	25	15	13	4	440	1706
参考) R5合計	226	168	—	47	9	2	529	513
比較増減	3	4	—	△32	4	2	△89	1193

2) ボランティアニーズの把握

ボランティア依頼者へ、ボランティアセンターが紹介した活動者の継続状況および現在の受入れ状況等の聞き取りを行い、ニーズの把握を行いました。

3) ボランティアセンター情報の発信

ボランティア活動に関する情報をまとめ、広く区民に提供(発信)しました。

区社協広報紙 「もくせい」	区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年2回発行：7月 59,900部、3月 59,400部。タウンニュース紙面に掲載
西区ボランティア センターニュース 「花スイセン」	ボランティア募集情報やボランティア講座等のお知らせ・報告を掲載しました。 年4回発行：各900部。登録ボランティア及び関係機関、区社協会員に送付。
ホームページ	ホームページ内に、ボランティア募集情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金案内など最新情報を随時掲載しました。

2. ボランティア等の福祉保健活動に関する相談及び育成・支援

1) 地域福祉保健活動に関する相談支援

福祉保健活動拠点の利用団体に対して、ボランティアに関する相談やボランティア講座や助成金制度の案内等を通じて活動の発展・啓発を図りました。

また、フードドライブや善意銀行への寄付物品について、活動の一助としてもらうため、必要とす

る団体に適宜アナウンス・配分しました。

2) ボランティア活動者の育成

(1) ボランティア活動についての啓発

ボランティア活動・地域活動への参加を促すことを目的に企画・実施しました。

月日・場所	内 容	参加人数
7月31日～8月28日 戸部本町地域ケアプラザ 他	小学生～大学生向け 夏休みボランティア体験講座 オリエンテーション ・ボランティア活動に参加する際の心構え、諸注意 ・ボッチャ体験 ボランティア体験(8ヶ所)	21名
8月8日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	車いす体験講座 ・車いす操作説明 ・車いす介助体験 ・ガイドボランティアの説明 ・ボランティア活動紹介	5名
11月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	視覚障害者 誘導ボランティア講座 ・誘導方法について座学 ・誘導体験 ・ガイドボランティアについて ・ボランティア活動紹介	6名
11月～12月 西区内	神奈川大学 学生向けボランティア活動紹介 【活動紹介先】 子ども食堂、地域ケアプラザ	3名
2月7日(金) 2月21日(金) 3月21日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	スマホサポーター養成講座 ・説明する時のポイント(心構え・実践) ・ロールプレイング ・ボランティアについて ・フィールドワーク	7名
3月4日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	ボランティアの学び舎シリーズ『ボランティア交流会』 ・もしバナゲーム ・各々が活動しているボランティア活動の紹介	14名
7月23日(火) 12月25日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	ゆるぼら「フードドライブ配分作業」 フードドライブで集まった食品の配分作業	のべ28名
11月19日(火) 12月9日(月)	ゆるぼら「清掃活動」 福祉保健活動拠点フクシア周辺の清掃活動	のべ22名
5月29日(水) 8月26日(月) 11月27日(水) 2月25日(火)	ゆるぼら「情報誌発送作業」 ボランティアセンター情報紙「花スイセン」発送作業	のべ20名

3) ボランティア活動支援

(1) ボランティア団体の活動支援

ボランティア団体の定例会に参加し、団体の活動状況や団体が抱える課題を把握し支援を行いました。また、ボランティア団体が開催する講座において、会場確保、講座周知、申込受付などの面で支援を行いました。

(2) ボランティア保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険について案内と受付を行いました。

保険名	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険	福祉サービス総合補償
R6年度(件数)	92件 (うち天災プラン23件)	221件	7件
R5年度(件数)	97件 (うち天災プラン13件)	242件	7件
比較増△減	△5件	△21件	0件

4) フードドライブ活動(食料支援)の推進

各家庭にある使い切れない未使用食品について、食品を必要としている団体にお渡しする「フードドライブ」活動を実施して運営支援を行いました。

寄付受付期間	寄付件数	配分団体数	主な配分先
第1回 7月1日～7月15日	16件(1,161点)	35団体	高齢者食事会、こども食堂、多世代交流サロン、認知症カフェ、青少年支援施設、生活困窮世帯支援団体等
第2回 12月1日～12月15日	16件(1,048点)	33団体	
合計	32件(2,209点)		

5) ボランティアセンター機能の強化

(1) 職員のスキルアップ

各種研修や勉強会に職員が参加するほか、毎月1回職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

(2) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄付金品の受付・配分等を審議するため、ボランティアセンター運営委員会を年2回開催しました。(詳細はP31参照)

6) ボランティア・市民活動分科会の開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供等を行うために、年3回開催しました。(詳細はP30参照)

7) 善意銀行の運営

区内の団体や個人の方からの寄付金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

(1) 寄託

内 容	件数	合 計
金銭寄付	9件	78, 521円
物品寄付	4件	コスメギフト、ノート型パソコン、お菓子詰め合わせ、布製手提げ

(2) 配分

内 容	件数	合 計
金銭配分	3件	・福祉教育助成金 @10,000 円 × 3件=30,000 円
物品配分	5件	・福祉関係施設、NPO 法人、区社協事業

(詳細は 別表4を参照)

3. 西区社会福祉功労者表彰

1) 社会福祉功労者表彰(永年勤続者表彰)

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤及び非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰式典を開催し表彰状・記念品の贈呈を行い、日頃の活動への労苦に対する感謝の気持ちをお伝えしました。

月日・場所	内 容	人 数
2月1日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	受賞者) 地域福祉活動功労者 個人:28 名 団体: 6 団体 永年勤続者 常勤: 18 名 非常勤:26 名	50 名

4. 福祉啓発・福祉教育の推進

1) 企業の地域貢献活動の支援

地域貢献活動を希望する企業からの相談に対し、地域のニーズを伝え、企業の要望や強みを活かした活動に繋がられるよう支援しました。

2) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行いました。

日にち	依頼者	内 容	参加人数
10月31日(木)	県立横浜平沼高等学校 1年生	地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア)	約60名
11月20日(水)	市立宮谷小学校 4年生	心のユニバーサルデザイン	約30名
11月28日(木)	市立みなとみらい本町小学校4年生	心のユニバーサルデザイン	約80名
12月3日(火) 12月11日(水)	市立みなとみらい本町小学校3年生	ボッチャ体験	約80名
12月6日(金)	市立岡野中学校 1年生	聴覚障害理解	約120名
12月10日(火)	市立浅間台小学校 5・6年生	高齢者理解	約100名
1月31日(金)	市立稲荷台小学校4年生	高齢者理解	約50名

2月21日(金)	市立みなとみらい本町小学校4年生	視覚障害者との交流	約30名
3月5日(水)	西前小学校放課後キッズクラブ	聴覚障害者との交流	約10名

3) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際に車椅子等の機材を貸し出しました。また、怪我や疾病のため一時的に車いすが必要になった方へ車いすの貸し出しを行いました。

(件数)

機材名	車椅子	高齢者疑似体験セット	妊婦体験セット	アイマスク	白杖	点字器	ユニバーサルデザイングッズ
R6年度	52	3	0	0	0	0	0
参考) R5年度	55	3	0	0	1	0	0

4) 社会福祉士相談援助実習の実習生の受入

福祉分野で活躍する人材育成を目的に、社会福祉士資格取得を目指す実習生を受入れました。

実習期間: 9月2日～10月24日

実習時間: 180時間超 (市社協での実習7.5時間含む)

実習生: 相模女子大学、武蔵野大学 計2名

Ⅲ 個別課題を抱えた一人ひとりを受け止める

1. 地域における権利擁護事業の推進(あんしんセンター事業) 重 点

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

(1) 権利擁護に関する相談

① 相談件数

		高齢者			障害者			その他 不明	合計
		認知症	その他		身体	知的	精神		
R6年度	28	7	21	10	2	2	6	0	38
参考) R5年度	15	1	14	5	0	1	4	0	20

② 相談内容(複数内容あり)

内容	金銭管理・財産関係等預かり	今後の生活設計	金銭・消費契約	相続・遺言	家族親類との関係	財産侵害	日常生活上の問題	隣人知人との関係	福祉サービス利用	就業関係	成年後見制度	その他	合計
R6年度	35	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	38
参考) R5年度	17	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20

2) 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

(1) 契約件数

項 目	契約件数		新規契約件数 (他区からの移管含む)		終了件数 (他区への移管含む)	
	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
定期訪問・金銭管理サービス	39	33	16	9	10	15
高齢者	29	26	13	9	10	14
障害者	10	7	3	0	0	1
財産関係書類等預かりサービス	1	1	0	2	0	2
高齢者	1	1	0	2	0	2
障害者	0	0	0	0	0	0

※終了理由 【R6年度】 成年後見 4、死亡 4、他区へ移管 1、本人申出 1
【R5年度】 成年後見 6、施設入所 6、死亡 3

(2) 相談等延べ件数

		R6年度	参考) R5年度
契約前対応	電話	128	98
	来所	0	0
	訪問	15	6
	手続き援助等	0	3
	合計	143	107
契約者対応	電話	1,313	1,624
	来所	25	17
	訪問	70	189
	手続き援助等	187	104
	合計	1,595	1,934
終了後対応	電話	13	32
	来所	1	1
	訪問	1	9
	手続き援助等	8	0
	合計	23	42

3) 広報・啓発活動

(1) 講座の開催

区社会福祉協議会、区内4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、西区シニアクラブ会長を対象に「消費生活出前講座」を開催しました。

月日・場所	内 容	参加人数
6月19日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	消費者被害 等 講師:横浜市消費生活総合センター	35名

4) 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

(1) 西区社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

(2) 成年後見サポートネット全体会、専門職会議への協力

西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に年1回、専門職会議に年3回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。

(3) 区内事業者 新人ケアマネジャー向け研修への参加

区内事業所の新人ケアマネジャー向けに、あんしんセンター利用手続きや連携方法について説明しました。

(4) ケース検討会等の実施・参加

契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

5) 市民後見人候補者、受任者への支援

(1) 市民後見人候補者の支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指して、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

(2) 市民後見サポートネット

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深めました。

月日・場所	内容	市民後見人バンク登録者参加人数
7月18日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	ケース検討	8名

2. 生活困窮者等支援

1) 生活福祉資金貸付事業

【生活福祉資金】低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯等に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として資金の貸付と必要な援助を実施しました。

【総合支援資金】失業等、日常生活に困難を抱えている世帯に対し、生活の再建のために継続的な相談支援と一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

(1) 相談件数

相談項目	制度内容相談			貸付相談			返済相談			合計
資金項目	面接	電話	その他封書等	面接	電話	その他封書等	面接	電話	その他封書等	
総合支援資金	1	12	28	4	9	13	2	0	49	118
臨時特例資金	0	1	0	0	1	0	0	0	4	6
緊急小口資金	3	62	62	26	65	107	3	17	74	419
福祉資金(教育支援資金含む)	2	154	156	19	122	223	4	65	206	951
不動産担保(要保護含む)	0	6	15	0	13	15	0	0	7	56
生活福祉資金以外の制度	86	1256	195							1537
R6年度合計	92	1491	456	49	210	358	9	82	340	3087
参考) R5年度合計	48	967	366	49	180	304	54	130	442	2540
比較増△減	44	524	90	0	30	54	△45	△48	△102	547

(2) 貸付件数

新規相談 資金項目	新規貸付決定件数
総合支援資金	0
臨時特例資金	0
緊急小口資金	1
福祉資金(教育支援資金含む)	3
不動産担保(要保護含む)	0
生活福祉資金以外の制度	-
合計	4

2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に借受人の償還状況を確認しました。

また担当民生委員と償還残高を共有する等連携を図り、ケースの世帯状況の確認を行いました。

内容	件数
住所不明調査(あて先不明で返送されてきた 借受人)	2件

3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課との情報交換など、お互いの業務を知りながら、顔の見える関係づくりに努め真した。

特に、コロナ特例フォローアップ対応においては、支援の方法などを事前に協議し、必要に応じて、自立支援相談機関に相談者をつなぐことができました。

4) コロナ特例償還対応フォローアップ

コロナ特例借受人の償還に向け、神奈川県社協、自立相談支援機関と連携を図りながら、郵送、電話、対面での現況ヒアリングを行い、他機関紹介、意見書の作成等の支援を行いました。

5) 食料支援

区役所生活支援課等と連携し、支援が必要な世帯状況をヒアリングの上、必要に応じて窓口にて食料を提供もしくは食支援を行っている団体を紹介しました。

食糧支援団体	件数
フードバンクかながわ	8 件

6) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協から経由して給付しました。

給付件数		内容	金額
R6年度	10件	旅費9件、その他1件	4,420円
参考)R5年度	20件	旅費 20 件	6,140円
比較増△減	△10件		△1, 720円

3. 移動に課題を抱える方への支援(移動情報センター事業)

障害のある方やご家族、支援者等からの移動に関する相談に応じて、サービス事業者やボランティア等の紹介・コーディネートを行いました。また、ガイドボランティア事業として、移動支援に関わるボランティア等の発掘・育成に向けた取り組みを行いました。その他、学校や関係機関に直接伺い、移動情報センターの制度説明を行ったほか、移動支援に関する事業所等について情報収集・更新を行いました。NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワークと共催でユニバーサルデザインタクシー(以下 UD タクシー)の試乗体験会を開催しました。

1) 談対応・コーディネート 相談件数:55件

(1) 障害種別

身体	知的	精神	複数障害	難病	その他
24件	18件	5件	3件	3件	2件

(2) 相談内容

通学	通所	通院等必要 不可欠な外出	余暇等社会参加 のための外出	制度説明	急を要する移動	その他
14件	15件	7件	11件	4件	1件	3件

(3)調整件数:624件

電話	メール、FAX等	来所	訪問
555件	23件	27件	19件

2) 移動情報センター推進会議の開催

月日	内容	人数
5月2日(木)	・UD タクシー試乗体験会の開催の検討	4名
6月6日(木)	・UD タクシー試乗体験会について内容の検討	8名
6月20日(木)	・令和5年度事業実績報告について ・令和6年度西区移動情報センター 事業について	14名
7月10日(水)	・UD タクシー試乗体験会の開催会場との打ち合わせ	9名
9月11日(水)	・UD タクシー試乗体験会の周知先と当日に関する打ち合わせ	7名
12月17日(火)	・UD タクシー試乗体験会の反省	7名

3) 横浜市ガイドボランティアの養成・コーディネート

ボランティアによる付添い依頼の相談に対して、登録ガイドボランティアだけでなくボランティアセンターと連携して調整を行いました。コーディネートにおいて、ガイドボランティアと支援対象者との初回顔合わせや初回活動へ同行、活動後の状況確認を行うなど、ガイドボランティアが安心して活動ができるよう定着に向けた支援を行いました。

(1) 登録者数:

支援対象者	ガイドボランティア
22名	34名

(2) 活動状況 : 【通学】336件 【通所】144件 【一般】62件 【余暇】203件

※上記活動状況に含まれない件数として、以下の活動あり

西区の支援対象者に対する他区のガイドボランティア登録者による活動

(3) 養成講座・交流会の開催

ガイドボランティアの発掘および活動者のスキルアップを目的として「車いす体験講座」と「誘導ボランティア講座」を開催しました。また、ボランティアの技術向上・モチベーションアップを目的に、ガイドボランティア、ボランティアセンターの登録者と共に合同交流会を行いました。

月日 ・ 場所	内容	参加人数
8月8日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	車いす体験講座 ・車いすの操作説明 ・車いす体験 ・ガイドボランティア・ボランティアについて	5名

11月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	視覚障害者 誘導ボランティア講座 ・誘導方法について座学および体験 ・ガイドボランティア・ボランティアについて	6名
3月4日(火) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	ボランティアの学び舎シリーズ「ボランティア交流会」 ・もしバナゲーム ・各々がしているボランティア活動の紹介	14名



車いす体験講座の様子



誘導ボランティア講座の様子



ボランティア交流会の様子

4) UD タクシー試乗体験会の開催

月日・場所	内容	人数
11月17日(日) TVKハウジングプラザ横浜	主催:認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク 共催:西区移動情報センター 横浜市健康福祉局障害自立支援課	84名

4. 課題別分科会の推進(横断的な話し合いの場)

1) 子育て支援

(1) 児童福祉関係分科会の開催

児童関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を開催しました。今年度は、分科会の中で施設や活動場所に直接見学に行き、お互いの活動についてより深く知り、つながりを作ることが出来ました。
(詳細は29P 参照)

(2) 子どもの居場所情報交換会の開催

学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、居場所情報交換会を開催しました。区内で活動する子ども食堂やみんなの食堂、子どもの居場所、学習支援等の各団体が区役所子ども家庭支援課からの『よこはまわくわくプラン』の説明を聞き、横浜市の目指す姿について共有することができました。

月日	内 容	参加人数
11月27日 (水)	近況報告・「こどもみんなが主役！よこはまわくわくプラン」 ～横浜市の目指す姿について～ 情報交換他	11団体 12名

(3) 親子ふれあい会への支援

地区社協で行われている「親子ふれあい会」活動に対し活動費を助成しました。(財源:福祉基金)

地区社協名	金 額
第二地区社協	30,000円
第六地区社協	60,000円

2) 障害児・者支援

(1) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

参加会議名	内 容
代表者会議	活動報告等
放課後等デイサービス連絡会・ 児童発達支援事業所連絡会	移動情報センター事業について説明

(2) 障害者福祉関係分科会の開催

西区内にある事業所とオンラインで繋ぎ、ご利用者に事業所での活動を紹介いただきました。また、障害当事者に自身の事業所での様子などを話していただき当事者への理解を深めました。
(詳細はP29参照)

3) 高齢者支援

(1) 高齢者福祉関係分科会の開催

高齢者関係団体・施設を中心とした分科会を開催。高齢者の見守り体制がより構築されるよう、“早期発見・早期対応”をテーマに、認知症の方の支援について話を聞き、自身の体験や気持ち等の話をする、「聞く」「話す」場を持ちました(年3回)。

(詳細はP28-29参照)

(2) 関係機関との連携

相談対応・支援において、区高齢支援担当や地域包括センター、西区シニアクラブ等と連携して対応しました。

(3) ふれあい会の支援

西区役所から業務を受託し、西区ふれあい福祉推進事業「ふれあい会」(高齢者等見守り活動)の申請・報告の受付、相談対応、事務説明会を行いました。また、情報交換・研修会を区域および地域で開催・協力し、必要に応じて各ふれあい会を訪問し、活動支援を行いました。

① 報告・申請書類の受付(年2回)

報告・申請書類の受付	令和5年度 下半期報告	54団体 (4月)
	令和6年度 申請	52団体 (4月)
	令和6年度 上半期報告	52団体 (10月)

② 相談対応

相談件数 51件/年

③ 事務説明会

月日・場所	内 容	参加者
3月5日(水) 区役所会議室	・研修会令和6年度報告書類について ・令和7年度申請書類について ・助成金の使い方 ・報告・申請書類の提出について ・質疑応答	31名 (23団体) *新規立ち上げ検討団体なし

④ ふれあい会情報交換・研修会の実施

区役所と共催して区域研修を開催しました。また地域ケアプラザと共催し地区状況に応じたプログラムで地区別研修会に参加・協力しました。

地区名	月日・場所	内 容	参加者
区域	12月16日(月) 区役所会議室	【研修会】 「見守り活動のポイント」 講師：渡辺 裕一氏(武蔵野大学教授)	ふれあい会52名(36団体)、区内4地域ケアプラザ、区役所、区社協 計62名
第2地区	3月24日(月) 戸部本町地域ケアプラザ	【戸部本町地域ケアプラザ主催交流会】 1. ミニ講座「ふれあい会とは・見守りを行う上での個人情報」 2. グループトーク	ふれあい会、居宅介護支援事業所、戸部本町地域ケアプラザ、区役所、区社協
第五・第六地区	1月18日(木) 西公会堂	【浅間台地域ケアプラザ主催交流会】 1. 地区の高齢者の現状を知ろう 2. 情報交換・交流 *「高齢者見守り活動交流会」として開催 (参加団体：ふれあい会、民生委員、シニアクラブ)	ふれあい会、民生委員、シニアクラブ、浅間台地域ケアプラザ、区役所、区社協

⑤ その他

広報紙「みみよりひろば」の発行事務を担いました。(年4回)

IV 地域から信頼される区社協運営を進める

1. 適切な法人運営 重 点

1) 適切な法人運営

(1) 個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」と「個人情報の保護に関する規程」に則り、個人情報の管理を行いました。

(2) 情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開に努めました。

令和6年度 情報公開請求：0件

(3) 苦情受付

「苦情解決規程」に則り、受付体制を整えています。 令和6年度 受付件数：0件

2) 職員の資質向上等

人材育成計画に基づき、法人内及び外部機関の研修等へ積極的に参加し、能力・資質の向上に努めました。

3) 区社協活動財源の確保

(1) 区社協事業の見直し

持続可能な組織運営と財政の健全化に向け、収入に見合った事業の見直しを行うとともに、事業費・事務費の経費削減の徹底を図りました。

(2) 区社協活動財源の確保

会費・賛助会費・共同募金・年末たすけあい募金等の自主財源確保に努めるとともに、地域の福祉活動を支援する財源確保に努めました。

2. 事業推進体制の充実

1) 会員

(1) 正会員

社会福祉施設	35件
民生委員児童委員	120件
地区社会福祉協議会	6件
地区連合自治会・町内会	6件
自治会町内会	92件
障害者団体等当事者団体	12件
ボランティア・市民活動団体	16件
地域福祉関係団体	18件
行政機関	4件
学識経験者	1件
正会員合計	310件
正会員会費合計①	1,038,000円

(2) 賛助会員

法人・団体	52件
個人	76件
賛助会員合計	128件
賛助会費合計②	法人・団体 412,000円 個人 191,500円 = 603,500円

会費合計	① + ② 1,641,500円
------	------------------

(3) 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。

2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

(1) 分科会

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換・課題検討を行いました。(年8回開催)

月日	主な議題	結果	参加人数
4月25日 (木)	・地区社協助成金 令和5年度報告・令和6年度申請について ・区制80周年記念補助金活用事業についての共有 ・令和5年度賛助会費実績について 他		27名

6月27日 (木)	・令和5年度区社協事業報告について ・課題別分科会の取組みについて ・第5期横浜市地域福祉保健計画について ・区民まつり出店について 他	全 て 承 認 さ れ た	24名
7月25日 (木)	・【勉強会】「令和5年度 よこはまの地区社協全体会」視聴 ・第4期にこまちプラン地区別計画振り返りについて ・区民まつり出店について ・令和6年度共同募金運動について 他		24名
9月26日 (木)	・【勉強会】「他人事を我が事へ」～つながりをつくるためのはなしあい ・課題別分科会について【報告】 ・区民まつりブース企画について ・令和6年度共同募金運動について ・各種講座・研修の紹介 他		27名
10月24日 (木)	・地区社協助成金の活用状況について ・令和6年度 年末たすけあい助成金について ・区民まつりについて ・社会福祉実習生の発表 他		25名
11月28日 (木)	・西区制 80 周年記念補助金の報告事務について ・区民まつりについて【ふりかえり】 ・地区社協と地区連合の連携について ・区社協会員全体研修 報告 他		24名
1月23日 (木)	・理事・評議員、各種委員等候補者の推薦について ・次年度地区社協分科会 予定について ・移動情報センター事業チラシ周知の協力依頼について ・にこまちフォーラムについて 他		25名
3月13日 (木)	・次年度西区社協事業計画について ・地区社協助成金 R6精算／R7申請について ・社会福祉功労者表彰式 報告 ・自治会町内会と“社協の活動”について情報交換 他		23名

【高齢者福祉関係分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における高齢者福祉関係分科会の取組テーマ

《見守り・つながり～早期発見・早期対応～》

令和6年度重点取組:取組Ⅰ-1)「認知症の方の支援方法について話し合える場づくり」

認知症の方の支援や取組について話を聞き、自身の体験や気持ち等を話す

月日	議 題	結果	参加人数
5月28日(火)	・令和6年度西区社会福祉協議会事業計画について ・令和5年度高齢者福祉関係分科会の取組報告 および令和6年度の取組について ・第4期にこまちプラン振り返り ・取組紹介「集合住宅の高齢者支援」 ～マンション住民・管理組合等との意見交換～		26名

8月27日(火)	・取組紹介 「認知症カフェ」／ 浅間台地域ケアプラザ 塚本さん 「認知症になっても行けるカフェ」／ 事務局より ・トークタイム 「どのような場なら認知症を話題にできるか」 ・情報交換	全 て 承 認 さ れ た	28名
2月28日(金)	・理事・評議員・各種委員の推薦について ・取組紹介 「薬剤師会の取組」／ 西区薬剤師会 「西区認知症キャラバンメイト連絡会の取組」／ 事務局より 「西区チームレンジの取組」／ 藤棚地域ケアプラザ 成田さん - 浅間台地域ケアプラザ 塚本さん ・トークタイム 「『認知症について話が(地域で)出来た』人の割合が増えるには、どのような工夫やきっかけがあるとよいか。		20名

【障害福祉関係分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和6年度の取組テーマ

《来て、見て、知って、つながって》

その人の特性や個性を理解し、地域で生活する住民としてつながる機会・関わりの機会を広げる。

月日	議 題	結果	参加人数
5月31日 (金)	・令和6年度西区社会福祉協議会事業計画について ・オンライン事業所見学（無限夢工房、生活介護事業所&COCO） ・第4期にこまちプラン振り返り	全 て 承 認 さ れ た	20名
8月26日(月)	・見えづらい障害のある方について知しましょう ・質疑応答		19名
2月20日(木)	・令和6年度 西区社会福祉協議会事業計画について ・障害を受け入れるとは		18名

【児童福祉関係分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和6年度の取組テーマ

《つながりづくり》

お互いの取組を知り、つながりを深める。

月日	議 題	結果	参加人数
5月28日(火)	・令和6年度西区社会福祉協議会事業計画について ・第4期にこまちプラン振り返りについて ・第2回児童福祉関係分科会・施設見学会について ・意見交換・情報交換	全 て 承 認	25名
8月～12月	・施設見学を実施 【見学場所】 横浜西口保育園、横浜みなとみらい保育園、おれんじハウス西戸部保育園、浅間台地域ケアプラザ、スマイルポート、ママのホットステーション、夏休みみんなの食堂、みんなのアフタヌーンカフェ、みんなのサロン、おれんじハウス西横浜教室、児童家庭支援センターらいく、レスパイト・ケアサービス萌		12か所のべ 29名

2月28日(金)	・分科会長・理事候補者等の選任について ・第2回児童福祉関係分科会・施設見学会報告について ・意見交換: 次年度の児童福祉関係分科会について	全て承認	22名
----------	--	------	-----

【ボランティア・市民活動分科会】

◎第4期西区地域福祉保健計画における令和6年度の実施テーマ

《仲間づくり・つながりづくり》

各団体の取組や工夫を共有し、活動の礎となる担い手の拡充を図る

月日	議 題	結果	参加人数
5月27日(月)	・評議員の推薦 ・令和6年度西区社会福祉協議会事業計画について ・令和6年度ボランティア・市民活動分科会の取組について ・第4期にこまちプラン振り返り ・市福祉ボランティア・市民活動部会報告 ・意見交換・情報共有	全て承認された	18名
10～12月	・分科会所属施設・団体相互の見学会		のべ 16名
3月3日(月)	・次期正副分科会長及び本会役員等候補者の選出について ・ボランティア・市民活動分科会 見学会報告 ・意見交換: 次年度ボランティア・市民活動分科会の取組について ・市福祉ボランティア・市民活動部会報告 ・意見交換・情報共有		11名

(2) 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

月日	議 題	結果	参加人数
11月26日 (火)	第43回 西区社会福祉功労者被推薦者の審査について	承認された	5名

【助成金等審査委員会】

月日	議 題	結果	参加人数
5月21日(火)	・令和5年度 西区社協ふれあい助成金配分結果について ・令和6年度 西区社協ふれあい助成金交付審査について	全て承認された	6名
11月20日 (水)	・令和6年度 第1回助成金等審査委員会 報告について ・令和6年度 年末たすけあい募金助成の審査について ・令和6年度 年末たすけあい募金地区社協助成について		8名

【にこまち助成金審査委員会】

月日	議 題	結果	参加人数
6月28日(金)	・令和5年度の助成実績について ・令和6年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について ヒアリング参加団体(5万円を超える申請):3件	全 て 承 認 さ れ た	審査委員 6名 申請団体 3団体6名
10月21日 (月)	・令和6年度第3回受付分の審査について ヒアリング参加団体(5万円を超える申請):6件(5団体) ・令和7年度にこまち助成金について ・区制80周年記念補助金活用状況について		審査委員 7名 申請団体 5団体9名
3月28日(金)	・にこまち助成金運営要綱および実施要領改正について ・令和6年度配分事業の報告 ・令和7年度第1回受付分の審査について ヒアリング参加団体(5万円を超える申請):9件 ・委員の任期および委嘱について		審査委員 6名 申請団体 9団体16名

【ボランティアセンター運営委員会】

月日	議 題	結果	人数
6月28日(金)	・令和5年度 ボランティアセンター事業報告について ・令和5年度 善意銀行の寄託・配分報告について ・令和6年度 ボランティアセンター事業計画について	全 て 承 認 さ れ た	6名
2月26日(水)	・令和6年度 ボランティアセンター事業報告について ・令和6年度 善意銀行の寄託・配分報告について ・令和7年度 ボランティアセンター事業計画について		6名

【評議員選任・解任委員会】

月日	議 題	結果	参加者
第1回 6月6日(木)	評議員候補者(1名)の選任について	承認	書面 開催

2. 事業推進体制の充実

1) 理事会・評議員会・監事会

(1) 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	参加人数
第1回 6月6日(木)	1. 令和5年度事業報告並びに決算(案)について 2. 監事監査報告について 3. 庶務規程の改正について 4. 旅費規程の改正について 4. 評議員選任・解任委員の選任について 5. 評議員選任・解任委員会の招集 並びに評議員選任候補者の推薦について 6. 定時評議員会の招集並びに議題について	理事 7名 監事 2名
第2回 11月7日(木)	1. 令和6年度補正予算案について 2. 評議員会の招集並びに議題について	理事 8名 監事 2名
第3回 3月11日(火)	1. 令和6年度補正予算案について 2. 令和7年度事業計画案並びに予算案について 3. 本会役員等賠償責任保険契約について 4. 評議員会の招集並びに議題について 5. 保有する情報の公開に関する規程等の改正について 6. 本会交通遺児援護規程の廃止について 7. 会員の入会について	理事 8名 監事 3名

(2) 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	参加人数
第1回 6月26日(水)	1. 令和5年度事業報告並びに決算について 2. 監事監査報告について 3. 理事の選任について	評議員17名 監事 3名
第2回 11月21日(木)	1. 令和6年度補正予算案について	評議員17名 監事 2名
第3回 3月25日(火)	1. 令和6年度補正予算案について 2. 令和7年度事業計画案並びに予算案について 3. 部会、分科会及び委員会等設置規程の一部改正について	評議員14名 監事 3名

(3) 監事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月日・場所	内容	参加人数
5月24日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	令和5年度事業報告・決算(案)について	監事 3名

3. 福祉保健活動拠点の管理・運営

指定管理者として、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に快適に利用いただけるよう運営を行いました。

1) 登録状況

利用登録団体 248団体

ボランティア・市民活動団体	障害児者等当事者団体	その他 (地域団体、福祉保健職域団体)
91団体	53団体	104団体

* メールボックス使用団体 : 25団体 (24個中) * ロッカー使用団体 : 53団体 (54個中)

2) 利用状況

部屋名	利用件数・利用率				
	R6年度		R5年度		比較増減
団体交流室	790件	64. 0%	800件	62. 1%	△10件
多目的研修室	810件	80. 1%	811件	80. 1%	△1件
点字製作室	497件	49. 2%	473件	45. 7%	24件
録 音 室	89件	8. 8%	122件	12. 0%	△33件
対面朗読室・編集室	596件	59. 0%	535件	52. 8%	61件
全 体	2782件	52. 2%	2,741件	50. 5%	41件

3) 利用調整会議の開催

利用登録団体の情報交換や、利用にあたっての注意事項の伝達を目的として開催しました。団体が活動紹介する時間を設け、利用登録団体同士のつながりを作ることができました。

月日・場所	内 容	参加者数
2月14日(金) 西区福祉保健活動拠点 フクシア	・事務連絡(拠点利用方法について等) ・登録団体の情報交換 ・ロッカー・メールボックスの抽選	31団体 37名

4) ご意見箱の設置

団体交流室に市社協のシステムである「ご意見箱」を設置。いただいたご意見は運営改善に反映しています。ご意見箱への意見 : R6年度 : 0件

5) 個別専門相談「よこはま LGBT 相談」の共催

横浜市市民局人権課および特定非営利活動法人 SHIP と連携した相談会を定期的実施、性的少数者支援を行いました。相談日: 毎月1回(月曜日夜間)

6) ひとり親世帯対象「学習支援事業」の共催

横浜市社会福祉協議会の「ヨコ寄付」推進事業と連携し、ひとり親世帯の高校生を対象とした高等教育進学に向けた学習支援を行いました。実施日: 毎週1回(木曜日夜間)

4. 災害への備え 重 点

1) 西区災害ボランティアセンターの運営

(1) 災害ボランティアセンター設置訓練

災害ボランティアセンターの設置場所及び、災害時に活用する資器材について、西区役所と調

整を行いました。戸部公園を災害ボランティアセンターの設置場所と定め、災害ボランティアセンター設置に使用する TENT 等の資器材及び、保管場所を確保していただきました。

また、戸部公園で災害ボランティアセンター設営訓練を区役所と合同で行いました。

(1 月 24 日(金)実施)

2) 小災害見舞等への支援

(2) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(台風、火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

災害発生日	件数・内容	金額
5月28日(火)	火災 8件	100,000円
12月17日(火)	火災 4件	50,000円
R6年度 合計	火災 12件	150,000円
参考) R5年度 合計	火災 5件	75, 000円
比較増△減	7件	75, 000円

V 積極的な発信・啓発と福祉団体との連携・協働

1. 広報紙の発行・ホームページの活用

1) 広報紙「もくせい」の発行

区社協のPRや地域の福祉の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的としてタウンニュース紙面に掲載し、年2回発行しました。

【配布方法】

- (1) 主要新聞7紙折り込みにて各戸へお届け
- (2) 活動タウンニュース社より西区内施設等に配布・配架
- (3) 本会より西区社協会員、区内施設等に配布・配架依頼
- (4) 本会より賛助会員、善意銀行寄付者・団体に配布 * No.89 号のみ



発行月	内 容	発行部数
7月 (第88号)	・共同募金、善意銀行、地区社協支援、ボランティアセンター、ガイドボランティアの事業紹介 ・社協からのお知らせ(各種講座・イベント情報等)	59,900部
3月 (第89号)	・地区社協について ・各地区社協の紹介 ・社協からのお知らせ(助成金説明会の案内) ・その他:賛助会員・善意銀行、赤い羽根共同募金のお礼	59,400部

2) ホームページ等の活用

区社協事業のPRやボランティア講座周知、地区社協の活動紹介などを随時更新しました。

西区社協ホームページ(https://www.yoko-nishishakyo.jp/)	
R6年度更新回数	79回
参考) R5年度更新回数	75回

2. 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携及びサポートを行いました。

神奈川県共同募金会横浜市西区支会	日本赤十字社横浜市西区地区委員会
西保護司会	西区更生保護女性会
西区遺族会	